

# 高次脳機能障害 医療機関研修

# 病識について

様々な後遺症と患者さんの気づき



講師 上田 敬太氏

京都光華女子大学 健康科学部 医療福祉学科 言語聴覚専攻 教授  
京都市高次脳機能障害者支援センター 嘱託医

※京都大学医学部附属病院他で高次脳機能障害者の治療に従事。神経心理学会、  
高次脳機能障害学会等で研究活動を展開。令和3年4月より現職。

令和6年 **3月11日** (月) 17:00~18:30

本研修では、講師から標記タイトルのご講演をいただきます。高次脳機能障害は、ご本人が病識を持ちにくい障害とされています。受講いただくことで、裏面にあるような悩み事の解決の一助になると思います。また、京都市高次脳機能障害者支援センターの紹介なども行う予定です。

【開催方法】 「Zoom」を用いたオンライン研修

【対象者】 京都市内の急性期・回復期病院等の医療関係者

医師、作業療法士、言語聴覚士、理学療法士、看護師、医療ソーシャルワーカーの専門職等

【定員】 100名 ※先着順。職場等で複数名での視聴が可能な場合、代表者1名でお申し込みください。ご協力をお願いします。

【申込方法】 裏面参照

【申込締切】 令和6年2月26日(月)

【費用】 無料

【主催】 京都市高次脳機能障害者支援センター

## こんなお悩みはありませんか？

ご本人の病識が乏しくて、  
リハビリが進まない。



リハビリ効果の  
高め方を知りたい。

### 研修受講について

- ・本研修はZoomを利用します。
- ※カメラ・マイクは不要です。
- ・インターネット接続が可能なパソコン、スマートフォン、タブレット等が必要です。
- ※通信料は、受講者負担です。
- ※インターネットへの接続環境や技術的な障害によって、研修中に接続が切れる可能性があります。
- ※セキュリティリスクを防ぐため、フリーWi-Fiでの接続は避けてください。

### 注意事項

以下に該当する事項は、固くお断りいたします。  
該当する行為が発見された場合は、ご退室いただきます。

また、研修内容の盗用が発覚次第、講師の著作権・肖像権侵害として厳重に対処させていただきます。

- ・研修の録画、録音、撮影
- ・資料の二次利用
- ・Zoomの参加ID及びパスワードの無断共有
- ・研修の詳細内容のSNS等への投稿

### 受講までの流れ

#### (1) 申込み

- 以下の申込フォームから、必要事項を入力してください。

#### (2) 受付通知

- お申し込みいただいたメールアドレスに、研修参加の際に必要な「受講番号」を記載した受付完了メールをお送りします。
- 受付完了メールが届かない場合は、お手数ですが以下の問合せ先にご連絡ください。

#### (3) 資料や参加ID

- お申し込みいただいたメールアドレスに、研修資料、参加ID・パスワード等を送付します。（申込締切後送付予定）

#### (4) 研修当日

- 研修開始30分前から入室が可能です。
- (3)の参加ID・パスワードで入室してください。
- 表示名は「受講番号、申込者名」にしてください。  
所属名は、不要です。例：「02 山本」、「19 清水」

#### (5) 研修受講後

- アンケートへのご協力をお願いします。

※主催者は、記録及び研修運営の安全管理を目的として、研修を録画させていただきます。

※お申し込みいただいた際は、上記注意事項に同意いただいたものとみなします。

### 申込フォーム

以下のURL又は右の二次元コードからアクセスし、お申し込みください。

URL [https://sc.city.kyoto.lg.jp/multiform/multiform.php?form\\_id=7575](https://sc.city.kyoto.lg.jp/multiform/multiform.php?form_id=7575)

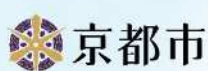


※お申込みにあたって、お預かりする個人情報は、本研修以外の目的で使用しません。

【問合せ先】京都市高次脳機能障害者支援センター

(京都市地域リハビリテーション推進センター高次脳機能障害支援課内)

TEL (075) 925-6256 FAX (075) 925-6472



京都市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



発行 京都市地域リハビリテーションセンター  
京都市印刷物 第054713号  
令和6年1月発行